

梅ヶ島 山の声



～ 梅ヶ島出張所通信 ～

コノハスっくん



梅ヶ島出張所の声

こんにちは。10月1日より梅ヶ島出張所に勤務することになりました下和田と申します。本年度採用されたばかりの23歳です。これまでは田町の静岡河川事務所、安倍川に関する業務、工事発注の仕事を行っていましたが、10月から梅ヶ島出張所で砂防の事業にも携わる事になりました。事務所との併任なので週に1日の勤務となりますが、全力で仕事に取り組み、少しでも地域の皆様のお役にたてるよう邁進していく所存です。私個人としては、体を動かす事と自然が大好きなので、梅ヶ島の自然の中で仕事ができることをとても楽しみにしています。まだまだ未熟でご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

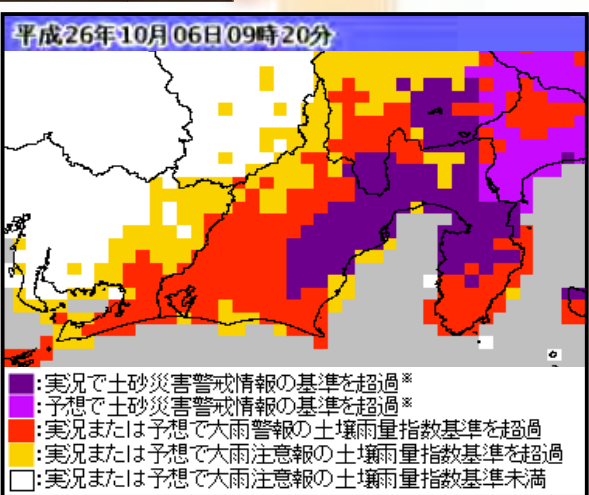
(10月末現在、紅葉真っ盛り)



もう少しで紅葉する大谷崩にて(10月3日)

10月に台風18号、19号と相次いで大型台風が来襲

10月に入り、台風18号、19号と2週連続で大型台風が来襲しました。特に台風18号は、6日8時過ぎに浜松市付近に上陸し、その後、9時には静岡市付近を北東に進み土砂災害や浸水被害が発生しました。前日から降り始めた総雨量は、葵区鍵穴で435mm(全国2位)、清水で428mm(全国3位)を記録し、梅ヶ島でも320mmのまとまった雨が降りました。静岡河川事務所と静岡地方気象台は、6日7時に「安倍川はん濫注意情報」を発表し、静岡県と静岡地方気象台は、大雨による土砂災害発生危険度が高まったため「土砂災害警戒情報」を6日6時12分に発表しました。



土砂災害から身を守るポイント!

- 土砂災害は一瞬にして、尊い生命や財産を奪います。土砂災害から身を守るための3つのポイントを紹介します。
- ① 事前に土砂災害のハザードマップを確認する
 - ② 出水時に土砂災害警戒情報、土砂災害警戒判定メッシュ情報に注意する(右図参照)
 - ③ 早め早めの避難行動が重要
(大雨で避難が困難な場合は、屋内でも二階以上で崖や沢筋から離れた部屋に退避する)



土砂災害警戒判定メッシュ情報(気象庁HPより)
 (土壌の湿潤度と雨量強度により土砂災害を判定し、県と静岡地方気象台が「土砂災害警戒情報」を発表)



出動した排水ポンプ車



牧之原警察署付近での排水状況

静岡河川事務所では、牧之原市より要請を受け、排水ポンプ車1台とリエゾン(情報連絡員)など職員3名を牧之原市へ派遣しました。排水ポンプ車は、9時25分より活動し坂口谷川下流細江地区の浸水被害をなくすことができました。翌週13日に来襲した台風19号時では、静岡市から排水ポンプ車の派遣要請があり、13日17時に静岡市清水区渋川(巴川右岸)へ排水ポンプ車1台を派遣し、また、リエゾンとして職員1名を静岡市役所に派遣しました。

「防災エキスパート」と現場視察後に意見交換会～9月30日(火)～

「防災エキスパート」とは、公共土木施設の災害発生時に、専門的知識や経験を活かして、自己責任により無報酬で協力活動を行う方で、中部地方整備局長より委嘱を受けた者をいいます。

9月30日(火)に、県中部の防災エキスパートの方、9名が有東木地区の杉の木沢砂防堰堤工事現場など3箇所を視察し、その後、田町の事務所で意見交換会を行いました。

災害経験での苦労話など、貴重な話を聞くことができました。



防災エキスパートによる現場視察(有東木)

梅ヶ島学区青少年健全育成大会・クリーン作戦に参加～10月11日(土)～

梅ヶ島学区の青少年健全育成大会とクリーン作戦が行われ、出張所安全協議会の会員が参加しました。

クリーン作戦では、日頃お世話になっている地域の大動脈である県道を3班に分かれて清掃活動を実施しました。

新東名の開通で観光客が増えたせいも、ゴミのポイ捨てが目に着きました。地元の児童や保護者と合同で行い、地域のコミュニケーションが図られ大変良かったと思えました。

当日はの総勢141名の方々が参加し、集積したゴミの量は大型のゴミ袋で10袋でした。

清掃後、PTAの方々による豚汁のサービスがあり、舌鼓を打ち疲れも吹き飛びました。
(株)新村組 豊嶋



クリーン作戦の様子(お疲れ様！)

「静岡市水防団」が安倍川砂防管内を視察～10月19日(日)～

10月19日(日)に、日頃から大変お世話になっている静岡市水防団の方々が入管内を視察されました。当日は、雲一つ無い秋晴れに恵まれ、大谷崩の雄大な崩壊地をはじめとする安倍奥の崩壊状況を体感されていました。

大谷崩の歴史、山腹工事の概要、安倍川を通じ海岸に至る総合土砂管理の必要性、有東木地区の砂防事業などを説明しました。

参加された団員の方からは、災害の経験談や、水防の面からの質問や意見を頂き、大変参考となりました。



静岡市水防団が管内を視察(大谷崩)

編集後記

安倍川上流部から紅葉前線が南下し、朝夕は暖房が恋しい季節となりました。また、地域では恒例のクリーン作戦が開催され、児童達の心温まる標語も披露されました。

洪水期を終えて当出張所管内の工事最盛期を迎え、県道沿いでは工事看板や交通誘導員が目立ち、年度末に向けて皆様には大変ご迷惑をおかけすることになりますが、ご協力をお願いいたします。

皆様からの情報やご意見を募集しますので、以下までお願い致します。

Tel:054-269-2003、E-mail:http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiawase.html



表彰された小中学生の標語

